

第9期 北海道総合開発計画

共に北海道の未来を創る



★食料安全保障を支える



★観光立国を先導



アイヌ文化の振興



★ゼロカーボン北海道を実現



北方領土隣接地域の安定振興



生産空間の定住環境維持



北海道総合開発計画は、北海道の資源や特性を活かして国の課題解決に寄与するとともに、地域の活力ある発展を図ることを目的に関連決定される計画です。
左は昭和26年に策定された第1期計画のポスターです。北海道に対する想いが描かれたこの作品への敬意を込めて、本ポスターを作成しました。

日本の持続的な発展のために

豊かな北海道を！

国土交通省



直近の数年の間に、世界・日本は過去に経験したことのない危機と変化に直面した。
一つはロシアのウクライナ侵略を契機として食料安全保障等の問題が顕在化したこと、
一つは新型コロナウイルス感染症が世界中の人の流れを止めて観光立国日本も揺らいだこと、
一つは2050年のカーボンニュートラル実現が世界の潮流となったこと。

我が国がこれらを乗り越えるためには、
高い食料供給力、魅力的な観光資源、豊富な再生可能エネルギーがおのずから必要となる。
そして、北海道のポテンシャルなくしてそれらは決して乗り越えられない。

北海道の特筆した価値を生む地域を、計画ではその「生み出す力」に着目して「生産空間」と定義付けている。
その「生み出す力」は、生産空間におけるリアルな人の営みによって維持されており、
定住環境を如何に維持していくかが、北海道の価値発揮に対する最も重要な基礎となる。

「他で代替できない北海道の価値」は、人がリアルにそこに住むこと・そこに行くことから生まれる。
全国に10年先んじて進む人口減少や広域分散型社会の課題を乗り越え、北海道の価値を最大化するために
2050年という近未来を見据えて多様な主体と『共に北海道の未来を創る』こと。
それが、多くの関係者と共に創った第9期北海道総合開発計画の中心的メッセージである。



共に北海道の未来を創る

第9期北海道総合開発計画



国土交通省 北海道局・北海道開発局